



早 建 第 7 8 9 号
平成20年10月15日

国土交通省道路局長 殿

早島町長 佐藤 友彦



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

平素から、本町の道路行政に対し格別のご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、先日ご依頼のありました標記につきまして、別添のとおり作成いたしましたので提出いたします。

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

岡山県早島町

1. 重点化政策

道路整備が比較的進んだ中では一点集中形の重点化は適切でなく、空間的、機能的に幅広い視点で現状を分析した上で、全方位的に重点化を展開すべき。(全国土一体)

1) 全国幹線道路網

100年の計の中で中期計画を実行する。

利用度に応じた道路・・・高速自動車専用道路(経済効果)

幅広平面道路(過疎地)

2) 地方幹線

管路網的道路ネットワークの構築(例 血管)

渋滞解消と安全確保・・・幹線、バイパス

3) 生活優先道路

目的別道路の整備・・・車道、歩道、自転車道

4) 景観保全

幹線道路付近の景観形成

2. 効率化

道路政策は国土計画の基本であり、長期的な観点から効率化を考える必要がある。

全国幹線は国の計画を着々と進め、地方は利用計画と合わせ進めるのが効果的である。

1) 全国幹線(通り抜け幹線)

不要なものは作らない。

2) 拠点間道路

計画段階で夫々の拠点(地方自治体)に利用計画を提出させ責任を持たす。

3) 幹線道路には道路整備用の設備以外は作らない。

3. 早島町に関して

1) 国内物流効率化の動き

大量物流→配送センター→店舗、個人

交通の要衝に物流の拠点を立地：幹線との連結のための県道早島松島線の拡幅が緊急課題

2) 岡山県南の開発

目標の明確化：産業の育成と拠点大学の設立

鉄道と道路網の有機的運用を考えた広域道路行政

3) 生活道路の安全確保

幹線からの通り抜け車両のための町道整備

学童、高齢者のための歩道、自転車道の整備

安心歩行エリアの整備

4) 景観条例による美しい町

古い町並みの再生（地域再生プログラム）

5) 地震火災等災害時の緊急輸送路の確保

6) 生活道路の補修

②-1 地域の現状と抱える課題

○課題

■幹線道路（国道2号）にアクセスする地域間道路の整備

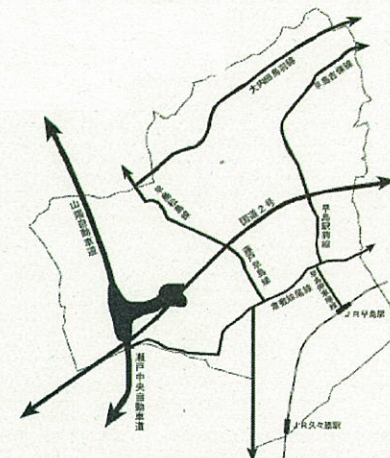
- ・本町においては、国道2号へアクセスする通過交通が、生活空間内に流入している状況にある。町民の安全性が確保された安心して過ごせる市街地を形成するよう、国道2号への円滑な通行を誘導する補助幹線道路の整備が課題となっている。

■子供、高齢者及び障害者の視点に立った道路整備

- ・本町は、岡山市・倉敷市を結ぶ国道2号が町域を分断しており、また、丘陵地に住宅団地の立地が見られる等、通行に困難な部分が存在する。子供から高齢者、障害者に至るまで安全に安心して通行できる道路の整備を、段階的に推進していく必要がある。

- ・町域を横断するように国道２号が走り、本町は南・北の２つの地域に分けられており、それぞれの地域の持つ特性を十分に踏まえたまちづくりが望まれる一方、ひとつのまちとして均衡ある発展を遂げるよう一体性の確保が必要となっている。

道路現況



今後の道路行政についての意見・提案

②－２ 地域の目指すべき将来像

岡山県早島町

道路網整備の基本方針

「車交通と歩行者交通がそれぞれ快適かつ円滑にネットワークする道路整備の推進」

山陽自動車道と瀬戸中央自動車道を広域幹線道路、そして国道２号を幹線道路、また大内田鳥羽線、早島吉備線、早島駅前線、駅前バイパス線及び三軒地大砂線を補助幹線道路として位置づけ、幹線道路とともに町内の骨格的な交通体系を確立する。また、生活道路においては、幹線道路の整備を推進することにより、車交通の流入を防ぎ回遊性の高い歩行系ネットワークも確立する。

整備方針

■沿道環境の充実と南北の円滑な交通を支援する国道２号

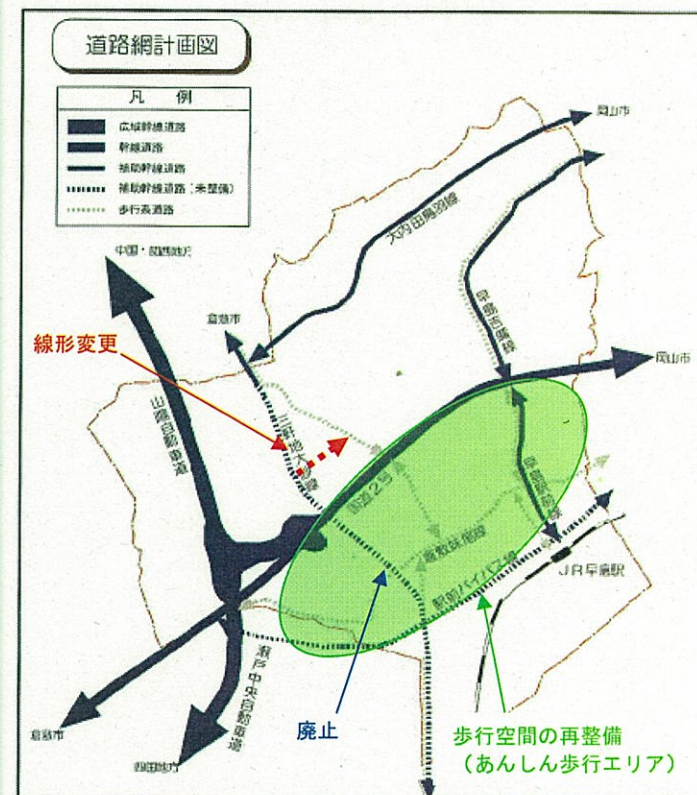
- ・国道２号は、岡山市と倉敷市への主要交通軸であることから、沿道土地利用の活性化を誘導し、町をPRする空間として沿道環境の充実に努める。
- ・町の一体性を確保するよう、交差点部については、歩行者、自転車利用者の円滑な交通を支援する施設整備を図るとともに、一部については高架化を検討する。

■早期整備を目指す三軒地大砂線、早島吉備線

- ・町北部から国道２号へアクセスする三軒地大砂線の整備を図る。
- ・早島吉備線は、歩道整備や一部の区域について拡幅整備による道路環境の向上を図る。

■子供から高齢者、障害者まで安全に生活できる市街地

- ・市街地における身近な生活道路は、子供から高齢者、障害者まで安全に生活できるようバリアフリー化や休憩施設の設置など歩行空間の再整備を推進する。



※三軒地大砂線については、都市計画道路の見直しにより、一部線形の変更、一部廃止とする方針。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

岡山県早島町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・都市交通の快適性、利便性の向上	■都市計画道路事業 （都）三軒地大砂線	・交差点の渋滞解消 ・屈曲部の解消による交通事故の減少 ・早島ICへのアクセス向上 ・既存ストックの活用によるコスト縮減	・都市計画道路の変更 ・交差点計画の関係機関協議 ・事業の実施とその事業費
・総合的な交通安全対策及び危機管理の強化	■あんしん歩行エリア整備事業	・安全性、快適性の確保された歩行空間の創造 ・危険地点表示による交通事故の減少 ・交通環境の向上による生活環境の充実	・まち歩きでの指摘事項の対応 ・国道2号との段差（縦断） ・ボトルネック道路の改善による生活圏への流入車両の排除 ・道路構造令の柔軟な適用 ・交通安全対策事業の拡充